

# 情報誌 たかぎ



ホームページアドレス <http://www.vill.takagi.nagano.jp/> 電子メールアドレス [info@vill.takagi.nagano.jp](mailto:info@vill.takagi.nagano.jp)



4月5日 快晴の日に喬木第一・第二小学校、喬木中学校の入学式が行われました。第二小学校では12名の新入生を迎え、上級生との対面式が行われました。

## 今月号の主な内容

### ■ 広報たかぎ

- ・ 23年年度一般会計予算 …… 2・3面
- ・ 社会の変化に対応できるむらづくり、地域づくりを目指して …… 4・5面
- ・ 平成23年度農政予算のねらい …… 6・7面
- ・ 役場の組織と職員配置 …… 8・9面
- ・ 国土利用計画を策定しました …… 10面
- ・ 総合型地域スポーツクラブの設立を …… 11面

- ・ お知らせ版 …… 12面
- ・ 5月の健康体操教室 …… 13面
- 健康アップPPK …… 14面
- 棕記念館・図書館だより …… 15面
- 学校だより 飯田養護学校 …… 16面
- 社協だより ひなたぼっこ …… 17面
- くりんネットたかぎ …… 18面

2011  
5  
May



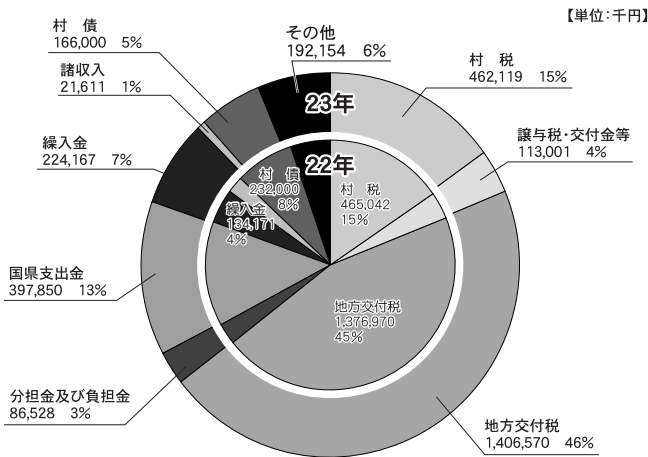
村の人口	6,622人(-19)
男	3,227人(-3)
女	3,395人(-16)
世帯数	2,074戸(-3)
(平成23年4月1日現在)	

2011 第311号

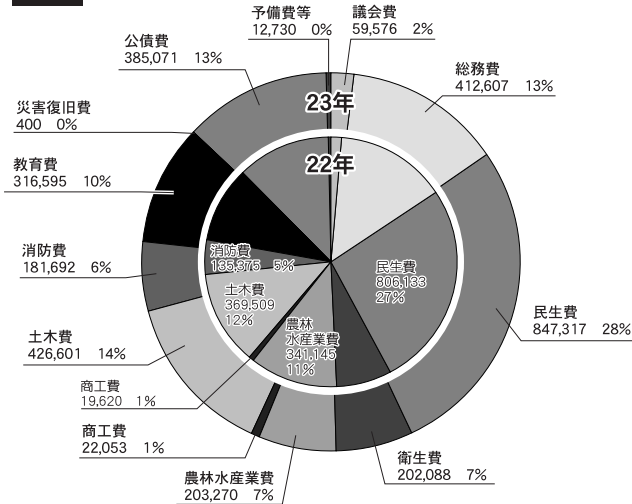
編集 企画財政課/発行 喬木村役場 TEL 0265-33-2001 FAX 0265-33-3679  
印刷 龍共印刷株式会社(飯田市上郷黒田121-1)

当初予算 歳入・歳出の内訳

歳入 30億7,000万円(平成22年度 30億3,000万円)



歳出 30億8,273万円(平成22年度 30億4,031万円)



◇下水道特別会当初予算  
堰下処理場の汚泥処理用固定脱有機設置費を計上し、四三・二%増の三億五〇〇万円

- ・農林水産業費は鳥獣害防護策設置、クラインガルテン建設が終了し、四〇・四%増の二億三二七万円を計上
- ・商工費は新規で村単雇用奨励補助金を計上し、二・四%増の二二〇万五千円
- ・土木費は、村道整備拡充等により、一五・五%増の四億二六〇万一千円。
- ・消防費は、防災センター非常用電源工事や、伊久間消防詰所の改築、消防団員優遇制度の計上により、三四・二%増の一億八一九万二千円



3月に完成したクラインガルテン(氏乗地区)

平成23年度一般会計予算

30億7,000万円(前年比1.3%増)

繰越分を含めた実質予算は34億円超  
過去最大規模の積極的予算編成で後期計画スタート!

三月の定例議会は三月二二日に閉会し、平成二三年度一般会計及び六つの特別会計予算が可決成立しました。今年度の一般会計予算は三〇億七千万円となりました。二二年度地域活性化交付金に伴う、二二年度の補正予算分四億円が今年度に繰り越され、これに加えた実質当初予算は、三億四億七千万円で、過去最大の

規模になりました。後期計画の目標「社会の変化に対応できるむらづくり、地域づくりを目指して」、選択と集中の考え方による予算編成となっています。  
なお、老人保健医療事業特別会計は昨年度で廃止され、特別家計は今年度より六会計となります。  
また、歳入については、東

日本大震災の影響を注視しながら予算の執行を行います。  
◇一般会計当初予算  
◎歳入  
・村税収入は、ほぼ前年並みの四億六二二万九千円  
・地方交付税は、二・一%増の一四億六五七万円。村の収入の四五・八%を占めています。

◎歳出  
・民生費は、障害者自立支援関係費や子ども手当の増を  
・繰入金は、村道整備など公共事業の拡充により、基金繰入が増え六七・一%増の二億二四一六万一千円

## 平成23年度 喬木村の当初予算

単位：千円

	平成23年度	平成22年度	比較	前年対比 (%)	主な内容	
一 般 会 計	3,070,000	3,030,000	40,000	101.3		
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	548,000	523,000	25,000	104.8	保険給付、後期高齢者支援金
	老人保健医療事業特別会計	-	500	△ 500	-	特別会計廃止による皆減
	後期高齢者医療特別会計	62,300	62,100	200	100.3	後期高齢者医療広域連合納付金
	介護保険特別会計	669,000	646,000	23,000	103.6	保険給付、介護予防等地域支援事業費
	村営水道特別会計	163,000	170,000	△ 7,000	95.9	簡易水道管理費、深井戸試掘
	下水道特別会計	305,000	213,000	92,000	143.2	公共下水道維持管理、固定脱水機設置費
	農業集落排水特別会計	69,000	71,000	△ 2,000	97.2	富田及び伊久間処理区の維持管理費
	特別会計合計	1,816,300	1,685,600	130,700	107.8	
平成23年度当初予算総額	4,886,300	4,715,600	170,700	103.6		

### 一般会計 実質当初予算当初予算額

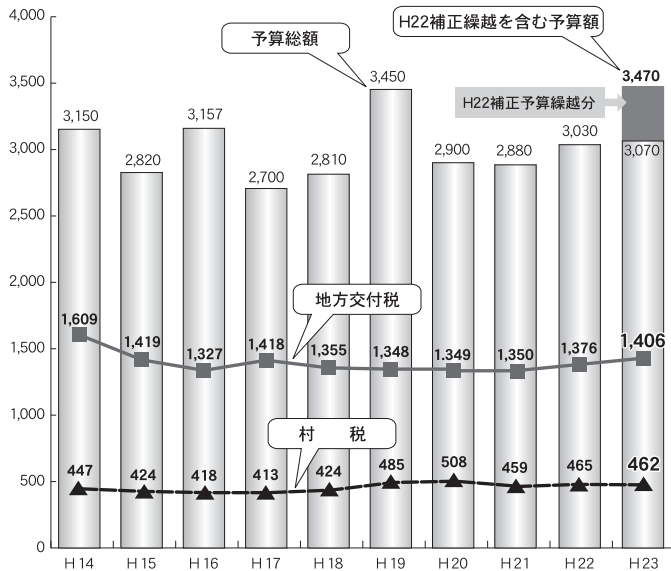
単位：千円

	平成23年度	平成22年度	比較	前年対比 (%)
一 般 会 計	3,070,000	3,030,000	40,000	101.3
H22補正繰越 (H23前倒し)	400,173			
H23 実 質 当 初 予 算	3,470,173	3,030,000	440,173	114.5

### 一般会計予算の推移(10年間)

【歳入】

【単位：百万円】



一般会計の推移(左下グラフ)を見ると、平成22年度補正予算繰越分(図の二段部分：4億円)を加えた実質当初予算では、次世代ネットワークを整備した平成19年度を上回り、過去最大規模の予算となっています。

基金及び村債の残高(下表)は、平成23年度末見込で、会計全体では27億円の村債超過、一般会計はほぼ同額となり、特別会計(上・下水道)も順調に償還されています。今後も引き続き、財政の健全化に努めていきます。



公園整備を行うアスティたかぎ跡地

### 喬木村の基金と村債

単位：百万円

【基金残高】	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末	平成22年度末(見込)	平成23年度末(見込)	平成23年度中増減
一般会計基金計	2,538	2,692	2,761	2,810	2,601	2,380	△ 221
特別会計基金計	361	124	184	221	173	141	△ 32
基金合計	2,899	2,816	2,945	3,031	2,774	2,521	△ 253

単位：百万円

【村債残高】	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末	平成22年度末(見込)	平成23年度末(見込)	平成23年度中増減
一般会計村債	2,624	2,917	2,743	2,670	2,779	2,598	△ 181
特別会計村債	3,387	3,193	3,102	2,959	2,774	2,623	△ 151
村債合計	6,011	6,110	5,845	5,629	5,553	5,221	△ 332

三月議会におきまして、関係者の処分について左記のとおり可決成立いたしました。

村長減給 1—10 一二月月  
副村長減給 1—10 六ヶ月  
教育長減給 1—10 三ヶ月

また、四月一日付で担当職員に減給1—10を六ヶ月間とする処分を行いました。

改めまして、村民の皆様をはじめ関係機関及び関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことに、心より深くお詫び申し上げます。

年度	件数	過少総額
平成21年度	41件	3,083,255円
平成20年度	57件	4,468,530円
平成19年度	56件	3,656,630円
平成18年度	42件	3,164,880円
平成17年度	43件	4,249,200円
平成16年度	35件	3,357,180円
合計	274件	21,979,675円

情報誌たかぎ三月号でお知らせした保育料の算定誤りにつきまして、平成一六〜一八年度の違算額の調査が終了いたしましたので、結果をお知らせいたします。

平成一六年度から二一年度までの六年間の、保育料の違算額は次のとおりでした。

**保育料の違算額が  
確定しました**

# える美しい村 喬木 づくりを目指して～

## ■予想される社会の変化

1. 人口の減少  
(人口増対策、山間集落対策・少子高齢社会対応)
2. リニア新幹線、三遠南信自動車道の開通 (広域行政)
3. 住民の行政参加意識の拡大
4. 住民の社会貢献活動 (ボランティア) 参加意識の拡大
5. 地球温暖化対策の重要性の拡大 (環境対策)

### ★は新規事業

#### 【生活環境】

#### 『環境にやさしく、安心・安全に暮らせるむらづくり』

- ★防災センター非常用電源工事…………… 3,140万円  
非常用電源装置の増設工事を行います。
- ★消防団員優遇措置交付金…………… 90万円  
消防団員に年間5,000円分の村内商品券を交付します。
- ★消防団詰所建設…………… 1,164万円  
老朽化が進んでいた伊久間消防詰所を改築します。
- 太陽光発電補助金…………… 250万円  
補助対象枠を15基から25基に拡充します。



消防団員への支援拡充  
(日頃から訓練を積み重ねている消防団員)



改良工事が進む村道7号線 (大和知)

#### 【社会基盤】

#### 『人と人、地域と地域の絆が深まるネットワークづくり』

- 村道改良・修繕工事…………… 1億7,465万円  
村道の改良・改修工事を大幅に拡充して行います。
- ★分譲宅地造成事業…………… 1,675万円  
阿島五反田地区に4区画の宅地造成を行います。
- ★住宅用地取得補助金…………… 120万円  
住宅建設の補助に加え、用地の取得に対して、60万円を上限に補助します。
- ★アスティ跡地公園造成…………… 2,600万円  
マレットゴルフコース、東屋、トイレ等を整備します。

#### 【産業】

#### 『交流の輪をひろげ、たくましく躍動するむらづくり』

- 村単農業補助金…………… 817万円  
担い手支援、遊休農地対策、農業振興に係る事業を拡充しきめ細やかな支援を行います。
- ★村単雇用奨励補助金…………… 250万円  
飯伊以外の学校を卒業しての村内企業等への就職を支援するため、補助金を交付します。
- 有害鳥獣駆除、猟友会補助金…………… 530万円  
捕獲補助枠を拡大し、猟友会への補助も拡充します。



今年25周年を迎えたいちご狩り

# 小さくともアルプスの峰の如く、毅然と聳 ～社会の変化に対応できるむらづくり、地域

## 【福祉・保健・医療】

### 『地域で支え合い、温もりとやすらぎが体感できる村づくり』

- ★第一社会体育館改修工事…………… 1,029万円  
障害者共同作業所「さくらの園」に隣接する体育館のバリアフリー化(トイレの改修・段差解消等)のための改修工事を行います。
- 障害福祉サービス費…………… 1億円  
障害者サービスの利用を拡充します。
- 子ども手当…………… 1億5,796万円  
手当支給制度変更を見込み、拡充します。
- 予防接種委託料…………… 2,492万円  
子宮頸ガン、ヒブワクチンなどの公費接種を行います。
- 介護保険特別会計繰出金…………… 1億1,176万円  
介護給付の増、介護予防事業など地域支援事業を拡充します。



施設のバリアフリー化による障がい者支援

## 【教育・文化】

### 『棕の里で未来を切り拓く心豊かな人づくり』

- ★学校共同調理場建設事業(繰越分)…………… 3億6,748万円  
施設の老朽化及び国の衛生管理基準への対応のため、小学校グラウンド北側用地に建設します。
- ★こども学遊館増床事業(繰越分)…………… 1,106万円  
相談室など2階部分を整備し、機能強化を図ります。
- ★テニスコート改修工事…………… 3,192万円  
損傷が著しい人工芝コートを全面改修します。
- ★総合型地域スポーツクラブ準備補助…………… 20万円  
準備委員会に補助金を交付し、クラブ創設の支援をします。
- ★棕鳩十記念館図書館整備事業(繰越分)…………… 1,106万円  
棕鳩十絵本の作成、空調設備の更新を行います。



工事が進む調理場建設現場

## 【行財政・村民参加】

### 『人にやさしく人が支え合い人を活かしたむらづくりのための基盤構築』

- 自治振興交付金…………… 1,800万円  
算定方法を改め人口や面積等による配分に変更し、支援の拡大をします。
- 保存文書整備事業…………… 1,315万円  
行政関係保存文書の整理・保存管理を行います。



交付金の拡大により自治会活動を支援  
(阿島区里山公園での巣箱かけ)

# 農業委員会「建議書」・振興計画(後期計画)を受け 喬木村農業政策見直し

## 【村の現状】

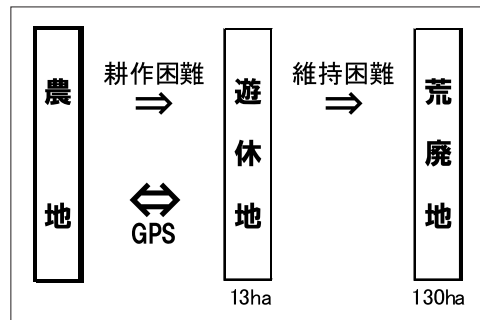
遊休地：13ha 荒廃地：130ha  
農業就業者平均年齢：69歳（県下78市町村中55位）

こうした背景には厳しい農業情勢、従事者の高齢化と担い手不足など要因は様々です。昨年度、農業委員会により「建議書」が提出され、また喬木村第4次総合振興計画中間年見直しのための「むらづくり委員会」では、TPP問題も含めた農政事業全体に及ぶ様々な提言がありました。

これらの提言をもとに、村では平成23年度農政予算を見直し、以下の3本柱を設置しました。

1. 遊休農地対策事業【Ground(農地)】
2. 担い手支援事業【People(人)】
3. 農業振興事業【Skill(技術)】

(以下、頭文字をとって「GPS」という)



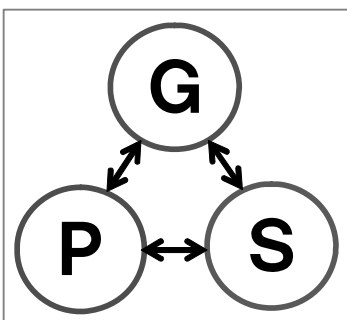
農地は農作物を栽培するのみならず、多様な生物の生息地であると同時に喬木村の農村風景を形づくっています。この先、耕作者の減少により荒廃地が増加し続ける事は、故郷喬木村の農村景観の形成、しいては7,000人の村づくりにも影響が及ぶものと考えます。

そこで、このGPSでは今ある農地を農地として守り、荒廃地に比べ農地としての潜在性がより強い遊休地を、農地への復旧または景観的使用と位置づけし、農業と景観の維持を図ります。

**G(農地)**は、主に農地を守る為の施策となっています。ただし、やみくもに予算を使用するのではなく、国県村で振興する作物を推進する事で、自給力の向上を図ります。

そのために、**P(人)**では就農者の支援、育成を図り、**S(技術)**では農業者支援に加え、営農団体支援のほか、定年退職を迎えた皆様にも活躍していただくための施策をとります。

新規就農者・農業者・認定農業者・定年退職者を段階的に支援し、全村民で農地・農村風景を守ります。



しかしこのGPS予算は、住民のニーズに十分応えられるものであるとは限りません。補助施策の増設や、これまでの施策の緩和を図った分、限られた予算の中でより効果のあるものかどうか、精査する必要があります。

GPS予算は3つが連動していると考えていますので、個々が空回りしないよう常に施策の検証を行い、よりよい施策となるよう、住民の皆様の意見も多く寄せて頂きたいと考えております。

	新規	事業の種類	対象経費
Ground (農地)		農地流動化	5年以上の利用権設定経費
		小規模土地改良	農地整備経費
		遊休農地利活用対策	指定した苗木、種子経費
	◎	遊休地草刈耕起委託費用	遊休地の草刈、耕起委託経費
		有害鳥獣防護柵設置	侵入防止資材経費
People (人)	◎	新規就農者支援	里親研修等への支援
		農業後継者資金利子補給	借入金の償還経費
		認定農業者育成確保資金利子補給	借入金の償還経費
		農業経営者連盟支援	農業後継者団体の育成経費

	新規	事業の種類	対象経費
Skill (技術)	◎	営農団体設立支援	新設の営農団体が遊休農地を5年以上利用権設定した経費
	◎	営農団体種子購入費用	指定した種子経費
	◎	農業用機械リース費用	機械リース経費
	◎	農業用施設設置費用	パイプハウスの新設、増設経費
	◎	農作物等災害対策	防風、防霜資材経費
		果樹共済加入推進対策	掛金・賦課金の経費支援
	◎	野菜価格安定対策	基金積立金の経費支援
	◎	飼養家畜へい獣処理支援	へい獣処理経費
		営農支援	営農団体施設の更新経費
		農業技術者連絡協議会	農業技術者連絡協議会支援

※要件等について、申請前に必ずご相談ください。(ふるさと振興課 ☎33-5127)

### 農地賃借料 (旧標準小作料) が変わります！

平成21年の農地法改正により、「小作料」という表現が廃止されました。

今後、農地の賃貸借を行う場合は、喬木村農業委員会が毎年公表する「農地賃借料情報」を参考にして下さるようお願いいたします (準拠法－農地法第52条)。

#### 喬木村農地賃借料情報

平成22年1月から12月までに締結された農地の賃貸借契約における賃借料 (10a当たり) は、以下のとおりです。

平成23年3月25日 喬木村農業委員会

##### 【田 (水稲) の部】

締結された地域名	平均額	最高額	最低額
阿島	10,000円	15,000円	6,000円
加々須・大島	6,000円	10,000円	4,000円
富田・大和知・氏乗	6,000円	10,000円	4,000円
小川	10,000円	14,000円	5,000円
伊久間	11,000円	14,000円	9,000円
(参考) 喬木村平均	8,600円	12,600円	5,600円

##### 【畑 (普通畑) の部】

締結された地域名	平均額	最高額	最低額
喬木村全域	7,000円	10,000円	2,000円

##### 【畑 (果樹) の部】

締結された地域名	平均額	最高額	最低額
喬木村全域	9,000円	15,000円	3,000円

##### 【畑 (飼料作物) の部】

締結された地域名	平均額	最高額	最低額
喬木村全域	6,000円	9,000円	3,000円

#### 備考

- \* 使用貸借 (無償契約)、物納 (例：米1俵) による契約は除外しています。
- \* 施設園芸等、特殊な契約の場合も除外しています。
- \* 畑 (果樹の部) については、樹種条件により増減します。
- \* 構造改善された農地については、全村において精算が終了しました。

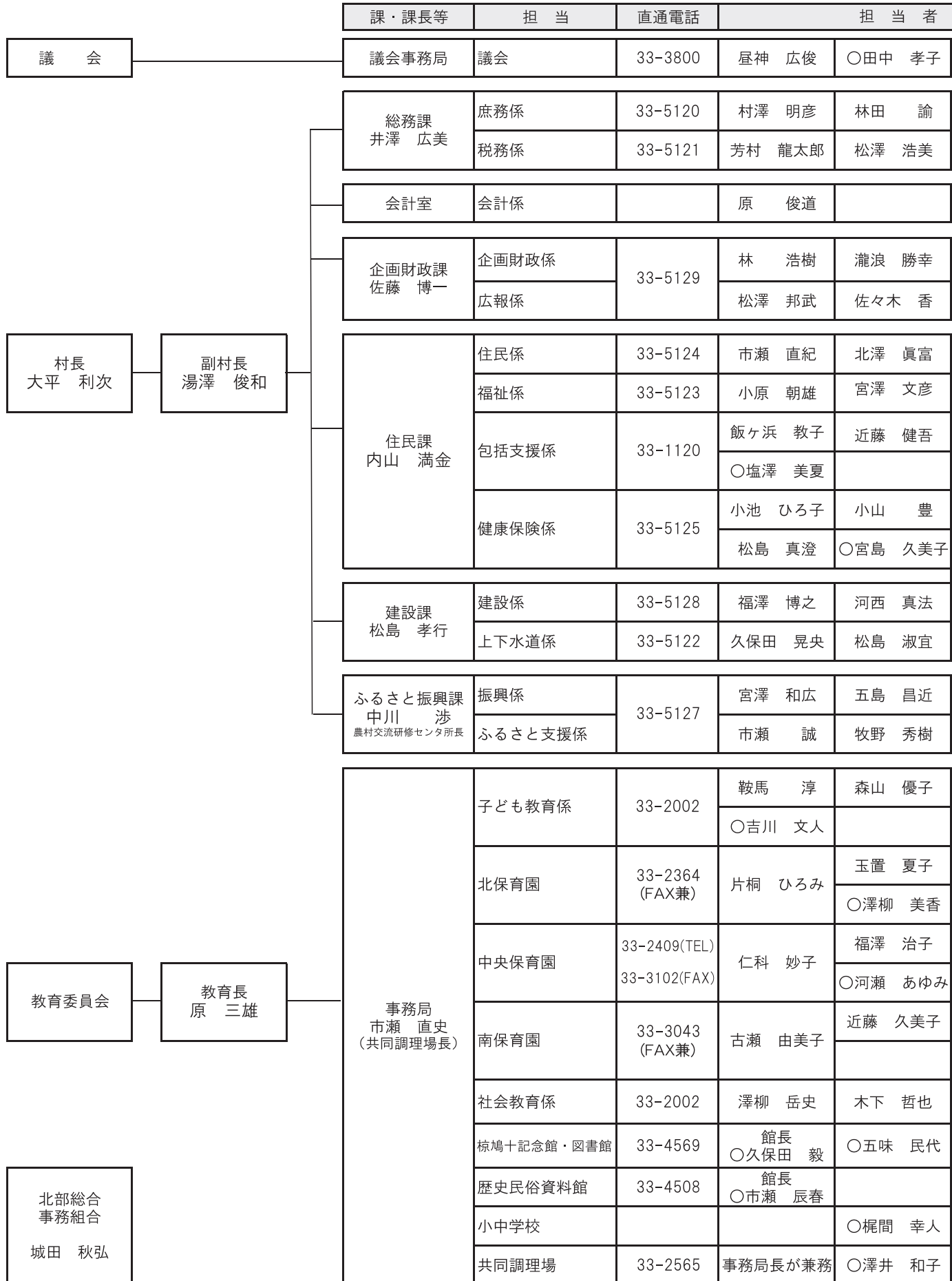
○は嘱託職員 ※社協より派遣

		主 要 業 務				事務所等の場所
		・ 議会、選挙、監査に関すること				役場庁舎 2階
○瀬川 雅嗣		・ 庁舎、職員管理、消防団、交通安全、防犯、防災に関すること				役場庁舎 1階
福澤 美都里	大澤 創	・ 村税の賦課徴収に関すること				
		・ 出納に関すること				役場庁舎 1階
		・ 財政、企画、行政改革、統計、総合振興計画、入札に関すること				役場庁舎 2階
○原 佐和子		・ 広報、情報通信、くりんネット、村づくり塾に関すること				
		・ 転入転出、住民票、戸籍に関すること				役場庁舎 1階
塩澤 哲也		・ 福祉全般、介護保険、国民年金、障害者、子ども手当に関すること				
○池内 裕江	※白子 和枝	・ 介護保険認定、介護予防に関すること				
小松 江梨子	北澤 真起江	・ 国民健康保険、高齢者医療、福祉医療に関すること				役場庁舎 1階
○野村 雅子		・ 健康相談、母子保健、健康づくり、栄養指導に関すること				
		・ 道路、河川、橋梁、災害復旧に関すること				役場庁舎 2階
○吉川 隆久		・ 簡易水道、下水道に関すること				
吉川 慎太郎	福澤 比斗実	・ 農業委員会事務局、農業振興、農地利用、林務に関すること				農村交流研修センター
		・ 商工業、観光、地域活性化、住宅宅地、廃棄物、犬猫に関すること				
畔上 雅美	白井 智也	・ 教育委員会事務局、学校教育、保育園、子育てに関すること				福祉センター 1階事務室
原 美春	前島 真理子	○渋谷 めぐみ	○矢澤 恵子	○下岡 清香	保育所の運営	北保育園
○生島 雄太	○大澤 智奈美	○片桐 彩	○知久 ともみ	○宮下 鈴子		中央保育園
篠田 八千代	原沢 和明	○篠田 智子	○鈴木 奈緒美	○齊藤 久美子		南保育園
○原田 奈緒美	○遠山 まどか	○田口 清香	○溝呂木 るみ			
福島 知恵	○木下 かおり	○原 みゆき	○寺沢 さゆり	○加藤 美千子		
公民館長 ○市瀬 悦孝		・ 社会教育、社会体育、施設管理、公民館に関すること				福祉センター 1階事務室
		・ 椋鳩十記念図書館の運営、椋文学の継承に関すること				椋鳩十記念館・図書館
		・ 歴史民俗資料館の運営に関すること				歴史民俗資料館
○梶間 宏之	○小山 治	○酒井あずさ	○宮島 純子	・ 学校との連絡等		小中学校
○矢澤 和美	○筒井 明美	○松沢 尚子	○近藤 則子	○瀬川 恵美子	学校給食の調理・配送	共同調理場



# 役場の組織と職員配置

役場代表電話 33-2001



# 国土利用計画(第二次喬木村計画)を策定しました

国土利用計画は、国土利用計画法（昭和49年法律第92号）に基づき策定されるもので、国土の総合的かつ計画的な利用を図るための基本方向を示すものです。

この計画は、全国計画、都道府県計画、市町村計画の3段階で構成されており、市町村計画である国土利用計画（喬木村計画）は、長野県計画を基本として平成14年3月に第一次計画（目標年次：平成22年）が策定された村土の利用に関する行政上の指針となるものです。

この度、目標年次である平成22年を経過したことから、平成23年3月に村議会の議決を経て、国土利用計画（喬木村計画）一第二次一を策定しました。

## 利用区分別の村土利用の基本方向

- |              |                             |
|--------------|-----------------------------|
| (1) 農用地      | 貸しやすく・借りやすい農地制度の確立          |
| (2) 森林       | 森林の持つ機能が発揮できる維持と保全          |
| (3) 原野       | 貴重な自然環境を形成している原野の保全         |
| (4) 水面・河川・水路 | 災害防止のための整備と有効利用             |
| (5) 道路       | 広域的な連携を取りながらの整備、優しい道路づくり    |
| (6) 宅地       | 住宅地・・・快適な住環境の確保             |
|              | 工業用地・・・立地需要に応じた用地確保         |
|              | その他の宅地・・・立地の集約化と地域景観との調和    |
| (7) 上記以外の土地  | 公用、公共用施設用地・・・景観形成に配慮した用地確保  |
|              | レクリエーション用地・・・総合的視野のもと計画的に整備 |
|              | 低未利用地・・・景観の保全・育成等に配慮した活用    |

## 村土の利用区分ごとの規模の目標

### ○目標年次(平成32年)における人口等の想定

人口：約6,300人（平成22年：6,693人 国勢調査）

世帯数：約2,149世帯（平成22年：2,058世帯 国勢調査）

### ○利用区分ごとの規模の目標

(単位：ha)

### 参考

利用区分	平成21年 (基準年次)	平成32年 (目標年次)	増減(△) (H32-H21)	増減(△) (H21-H12)		
農用地	農用地	481	424	△57	△42	
	採草放牧地	0	0	0	0	
	森林	5,324	5,343	19	△11	
原野	19	19	0	0		
水面・河川・水路	162	160	△2	△1		
道路	道路	171	185	14	3	
	宅地	宅地	148	152	4	5
		住宅地	106	112	6	7
		工業用地	6	6	0	1
その他の宅地	36	34	△2	△3		
その他	357	379	22	46		
合計	6,662	6,662	0	0		

# 総合型地域スポーツクラブ研究委員会報告 喬木村にも、総合型地域スポーツクラブの設立を！

研究事項の報告書が提出されました！

「いつでも、どこでも、だれとでも、いつまでもスポーツを親しむために！」を目的とする「総合型地域スポーツクラブ」は、国のスポーツ振興法やスポーツ立国戦略の中に位置づけられており、各市町村に住民主体による一クラブ以上の設置が目標とされています。

そこで、村では平成二十二年度に研究委員会を設置し、当村での要否や村にふさわしいクラブのあり方等について、約半年をかけて研究していただき、このたび、その研究事項について報告書がまとまり、田中明文委員長(体育協会会長)から教育長に提出されました。



## 研究委員

は、体協役員、体育指導委員、公民館体育部長、中学校遊館長に公募の二名を加えた一、二名で組織され、村のスポーツ振興に於ける課題の把握、視察や研修による総合型地域スポーツクラブの内容、また他町村の状況を研究して、議論を重ねてきました。

報告書の中で、当村におけるクラブの要否については、「村の状況把握やクラブのメリット等を検討した結果、全会一致で必要との判断に至った。」とされており、クラブの必要性が報告されました。平成二十三年度には、クラ

ブ設立の準備委員会を立ち上げ、クラブ設立に向けて動き出すことになっていきます。村としましては、設立に向けての支援・協力を積極的にを行い、住民主体の喬木に相応しいクラブが設立されることに期待します。

## ◆報告書の要旨

○当村におけるクラブの要否について  
全会一致で必要との判断に至る。

○当村にふさわしいクラブづくりについて

### ①クラブのあり方

・村内ですでに積極的に活動している体育協会や公民館体育事業は尊重し、それらとの連携を持ちながら、今現在カバードキテいない隙間の部分を埋めることにより、より多くの方がスポーツ・運動に親しめるようなクラブが望ましい。

### ②クラブの主な内容

- ・ 低年齢層のスポーツ・運動教室
- ・ 高齢者やスポーツが苦手な方でも気軽に参加できるスポーツ・運動教室
- ・ 健康づくりのためのスポーツ・運動教室
- ・ 多様な種目のスポーツ教室 等

### ③その他

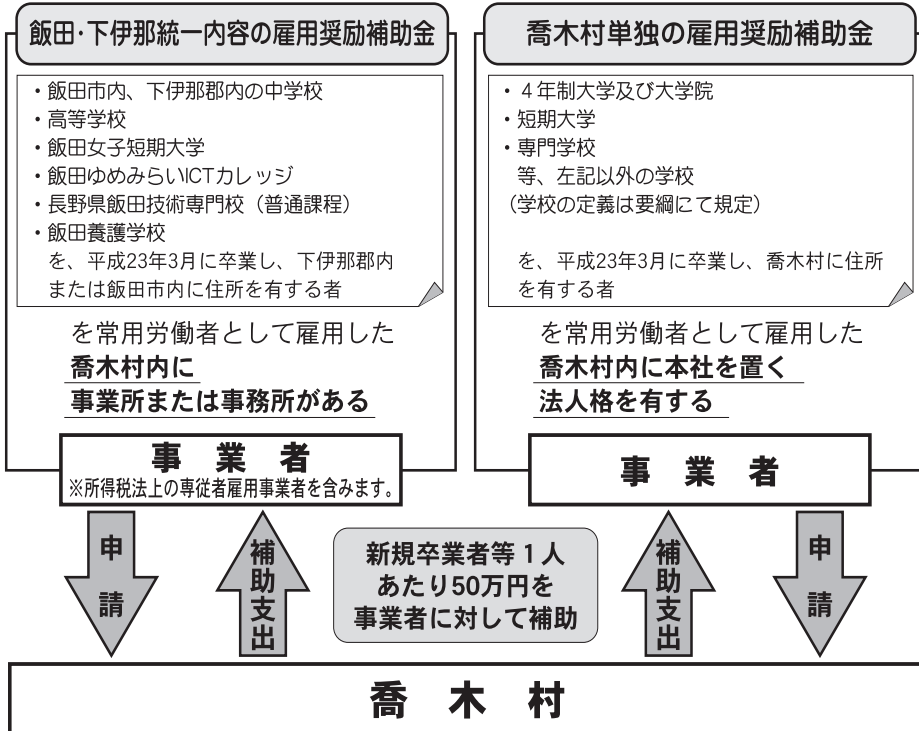
- ・ 平成二十三年度に準備委員会を設立し、準備を進める。

## 平成23年度喬木村緊急雇用奨励補助金が創設されました

喬木村では、地域産業の人材育成と新規卒業業者への地元就職促進を目的として、昨年度に引き続き緊急雇用奨励補助金を実施いたします。

平成二三年度は、広域連合

で取り組んでいる高卒者等に  
加え、喬木村独自で大学・管外専門学校等の卒業業者への補助内容を拡充しました。該当の事業者はご活用下さいませようご案内いたします。



●問い合わせ ふるさと振興課ふるさと支援係 ☎33-5127



## 5月の結婚相談日

○日時  
五月一四日 土曜日

○時間  
午後七時三〇分〜午後八時三〇分

○場所  
福祉センター第一会議室

※相談日に関わらず、随時左記にて結婚についてのご相談を受け付けております。

○お問い合わせ  
喬木村役場 住民課福祉係 担当…小原  
電話…3315123

## 農業戸別所得補償制度集落説明会 喬木村水田農業推進協議会

水稲生産の需給調整と「販売農家」の経営安定、食料自給率の向上を図るため実施される、農業者戸別所得補償制度については、事業実施が遅れており大変ご迷惑をおかけしております。

事業内容と提出物については、現在、各地区の推進委員さんにより対象農家の皆様へ四月中旬中に随時配布がされているところです。  
つきましては、下記により事業説明会を開催致します。

## 村税等納期一覧

納期	税目	納期限	振替日	令書
4月1期	軽自動車税	平成23年5月2日	平成23年4月25日	4月18日
5月1期	固定資産税	平成23年5月31日	平成23年5月25日	5月16日
6月1期	県村民税	平成23年6月30日	平成23年6月27日	6月16日
7月2期	固定資産税	平成23年8月1日	平成23年7月25日	7月15日
8月2期	県村民税	平成23年8月31日	平成23年8月25日	8月17日
9月		平成23年9月30日	平成23年9月26日	9月16日
10月3期	県村民税	平成23年10月31日	平成23年10月25日	10月17日
11月		平成23年11月30日	平成23年11月25日	11月16日
12月3期	固定資産税	平成23年12月26日	平成23年12月26日	12月15日
1月4期	県村民税	平成24年1月31日	平成24年1月25日	1月17日
2月4期	固定資産税	平成24年2月29日	平成24年2月27日	2月15日
3月		平成24年4月2日	平成24年3月26日	3月16日

その他 介護保険料・後期高齢保険料・水道使用料・下水道使用料・農集排使用料・コミプラ使用料 等

- ・村税を口座振替されている方は振替日に引き落としいたします。新たに口座振替を希望される場合は、役場事務係にて振替の手続きをして下さい。
- ・振替金額については、各税目の第1期（国保税については1、4期）に送付する納税通知書をご覧ください。
- ・定期振替日に引き落としできない場合は翌月7日（休日の場合は翌日）に再振替を行い、なお引き落としできない場合は督促状を送付いたします。

提出期限が五月上旬と期間が大変短いこともあり、今年度は村内を四地区にわけ左記日程で開催することとなりました。配布された資料を事前にご確認頂き、不明な点について説明会でお問い合わせ下さい。

また、資料配付対象外の農家の方（畑地のみ所有の方）で、畑作物戸別所得に対象となると思われる方についてもご参加ください。

■日時・場所・対象集落  
四月一八日(月)午後七時〜  
加々須区民会館  
加々須、大島

■四月二二日(金)午後七時〜  
第二公民館  
氏乗、大和知、富田

■四月二五日(月)午後七時〜  
JA喬木支所二階  
阿島

■四月二七日(水)午後七時〜  
JA喬木支所二階  
小川、伊久間

（当日資料の用意はありませんので配布された資料を持参してください）

○お問い合わせ先  
役場ふるさと振興課  
JA喬木支所管農課  
☎3315127  
☎3314330

## 新しい 駐在所員さん



長野県巡査部長  
番澤 毅  
（38歳）  
東京都出身

飯田への赴任、また駐在所勤務は初めてで、手探り状態ですが、長野県民…特に喬木村村民の方が安心して生活できるよう、精一杯頑張っていきますので、ご協力お願いします。  
また、飯田所管内は中国人も多く居住していると聞きました。  
中国語の日常会話くらいならまだ喋れるので、相談事があればいつでも駐在所に来てください。

## 平成23年度 喬木村赤十字 奉仕団役員

- 委員長 宮下 弘美
- 副委員長 横前 光
- 副委員長 木下 美幸
- 阿島分団長 菅沼 祐子
- 小川分団長 松島 佳子
- 伊久間分団長 小川つや子
- 富田分団長 畑中 三子
- 大和知分団長 土屋ヒサ子
- 氏乗分団長 土屋 清子
- 大島分団長 山上 美智
- 加々須分団長 牧内八恵子

## 平成23年度 喬木村消防団役員



森山康晴副団長



内山岳彦団長

役職	氏名
本部長	村澤 明彦
副本部長	林田 諭
第一分団長	市瀬 孝広
第二分団長	市瀬 一彦
第三分団長	新井 輝明
第一副分団長	瀬川 勉
第二副分団長	羽生 智章
第三副分団長	福澤 尚
機関長	荒木 竜哉
誘導長	羽生 俊郎
救護長	山越 弘幸
喇叭長	仲田 浩司
本部旗手	宮島 淳

# 行政相談委員に橋爪稔さん

「行政相談」とは、皆さんから、国の役所や独立行政法人及び特殊法人が行っている仕事に関する苦情や意見・要望をお聞きして、その解決や実現を図るものです。この身近な窓口が行政相談委員です。行政相談委員は、総務大臣から委嘱を受け、住民と行政のパイプ役として、活躍しています。毎月福祉センターで

行われる定例相談のほか、自宅でも皆さんのご相談にに応じていますので、お気軽にご相談ください。なお、相談は無料ですが秘密は厳守されます。

行政相談委員

橋爪 稔 さん

任期 平成二十三年

二十四年度

## 5月の健康体操教室

はつらつ元気に、健康維持  
自分の身体は自分で守ろう！

次の各会場でいきます。どなたでも気軽にご参加いただけますので、是非お越し下さい。



日時	午前10時～	午後1時半～
5月9日(月)	南農事集会所	大和知公民館
5月11日(水)	北コミュニティ消防センター	犇牛原公民館
5月16日(月)	伊久間農産物加工センター	上平集落センター
5月18日(水)	馬場伝承館	氏乗集落センター
5月23日(月)	宮本公民館	加々須区民会館
5月25日(水)	阿島傘伝承館	寺の前集落センター
5月30日(月)	田上川消防センター	大島公民館

### その他健康体操教室

5月14日(土)	午後7時半～	福祉センター
5月28日(土)	午前10時半～	福祉センター

### 水中体操教室 ※持ち物 水着、キャップ、入場料400円

ゆっくりコース	5月6日(金)	午前10時～	ほっ湯アップル
ゆっくり歩こうコース	5月13日(金)		
はつらつコース	5月20日(金)		

### 定例介護者の会のお知らせ

5月28日(土)	午前10時半～	福祉センター
----------	---------	--------

お問い合わせ先 役場 住民課包括支援係 ☎33-1120

### 平成23年度前期の定例行政相談日

○会場	福祉センター	
○時間	午前10時～12時	
○期日	5月9日(月)	6月7日(火)
	7月7日(木)	8月8日(月)
	9月7日(水)	10月20日(木)
	11月9日(水)	

### 新規職員の紹介



総務課  
税務係  
大澤 創

責任感を胸に、職務に励みたいと思います。



ふるさと振興課  
振興係  
福沢比斗実

農家の皆様と喬木村を盛り上げたいです！



喬木村教育委員会  
子ども教育係  
白井 智也

日々できることを増やしていきたいです。

### お世話になりました

企画財政課企画財政係長

下平 正

(下伊那地方事務所  
税務課管理係へ)

### 公式キャラクターの愛称募集について

県と市町村では、長野県「水循環・資源循環のみち2010」構想により、公式キャラクターの「愛称(なまえ)」を募集します。

○応募資格 長野県内に在住又は通勤・通学している方  
○応募方法 「郵便はがき」、「電子メール」、「FAX」とする。  
応募は、所定の様式をご利用ください。ホームページからダウンロードできます。  
(<http://www.pref.nagano.jp/kankyo/seihai/kouhou/kouhou.htm>)

または、「生活排水キャラ」で検索してください。)  
①応募作品名 ②作品の簡単な理由 ③住所、氏名、電話番号

○応募条件  
・応募作品は、本人が創作した未発表のものとする。  
・愛称は応募一件につき一作品とする。

○応募先・問い合わせ先  
長野県生活排水広報委員会事務局  
☎026-2335-7299(直通)  
募集締切  
平成二十三年五月三十一日(火)



見直そう

生活習慣

健康

アツプ

PPK

住民課 包括支援係 電話(直通) 33-1120 FAX33-3679

介護保険  
シリーズ

その3

## ～介護保険新規申請の状況について～

平成19年度から22年度の新規申請の状況は以下のとおりです。各年度ともに新規申請者は、要介護2までの軽症での認定が70%以上となっております。また、介護認定の原因となる疾患は、脳血管疾患、認知症、関節・筋力低下が60%以上を占めております。このことから、これらの病気の原因となる、高血圧症、糖尿病、高脂血症などの予防と、生活習慣や治療による改善が大切となります。また、関節や筋力低下の予防として、体操やウォーキング、水中運動などの継続した運動に取り組むことも大切です。

## 喬木村介護保険新規申請状況 (平成19～22年度) ※H22年度は3月1日現在

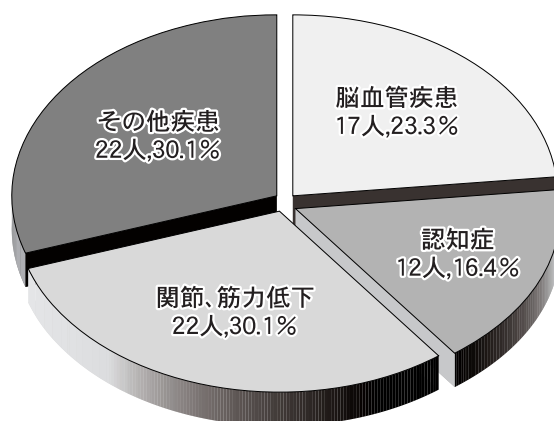
## (1)各年度別新規申請者の介護度

介護度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
要支援～要介護2	軽症	69人	77.5%	41人	74.5%	61人	73.5%	56人	76.7%
要介護3～要介護5	重症	20人	22.5%	14人	25.5%	22人	26.5%	17人	23.3%
合計		89人	100%	55人	100%	83人	100%	73人	100%

## (2)新規申請者の疾患別状況

疾患名	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
脳血管疾患	18	20.2%	13	23.6%	18	21.7%	17	23.3%
認知症	17	19.1%	12	21.8%	12	14.5%	12	16.4%
関節筋力低下	24	27.0%	12	21.8%	27	32.5%	22	30.1%
その他	30	33.7%	18	32.7%	26	31.3%	22	30.1%
合計	89人	100%	55人	100%	83人	100%	73人	100%

平成22年度 新規申請者(73名) 原因疾患別割合



# 椋鳩十記念館 だより

第74号

椋鳩十記念館・記念図書館 TEL 33-4569 FAX 33-4599

## 椋先生の「母と子の20分間読書運動」 50年経ちました。

椋先生の提唱された「母と子の20分間読書運動」は、昭和35年から本格的に始まり、鹿児島を中心に全国に広まってきました。

当時の要点は、①子どもが20分くらい本を読む ②母が聴く ③できるだけ毎日くりかえす というものでした。

しだいに、・字が読めない幼児にも、・お母さんがよんでやることも、・家族でそろってなども加えられ、ますます盛んになってきました。

底流するものは、「続けることによって本に興味を感じ、よい読書習慣を身につけること」ですが、読書運動を通して家族の心と心のつながりも大切に考えられました。



『名探偵VS・怪人幻影師』  
はやみねかおる・作  
佐藤友生・絵 講談社  
五〇年前の町を再現した「レトロシテイ」に名探偵がやってきた。謎解き大好きの小学生とともに、次々と起こる怪事件に立ち向かう。

『おとうさんおかえり』  
文マーガレット・W.ブラウン  
絵 スティーヴン・サヴェッジ  
ブロンズ新社  
人も、魚も、てんとうむしも、うさぎも、くもも、いぬも、ことりも、・・・みんな帰っていきます。

### おすすめ本

### “椋鳩十賞読書感想文コンクール”課題作品決定

応募締め切りは、9月末です。今から課題作品にふれ、村民の皆さんの多数の応募をお待ちしています。

対象学年	課題作品	全集・巻ほか
1・2年	りんごとからす	1年生のどうわ2 椋鳩十の本32
3・4年	さいごのワシ	椋鳩十全集17 4年生の童話1 ほか
5・6年	月の輪グマ	椋鳩十全集1 椋鳩十の本10 ほか
中 学	マヤの一生	椋鳩十全集15 椋鳩十の本12 ほか
一 般	盲目の春	椋鳩十の本2



四月 宮脇学 フォト展  
五月 みつけ里山保育園写真展

### 四月のギャラリー展

- お楽しみ会  
4月30日(土)  
5月14日(土)
- ブックススタート  
4月27日(水) 7カ月児
- おはなしのへや  
4月27日(水)  
5月11日(水)  
5月25日(水)
- 絵本の会  
4月15日(金)  
5月20日(金)

### 四月下旬・五月の予定

『元気くんとのおん気ちゃんのお運動遊び』  
監修 犬飼己紀子 遊戯社  
二月二〇日に行われた「ふるさとづくりフォーラム」で講師をされた、犬飼己紀子さん監修の本。人と関わる力を育てる運動遊び満載。



# 学校だより

No. 128

飯田養護学校

## 平成23年度がスタートしました。 本年度もよろしくお願ひします。

4月8日（金）に平成23年度の入学式が行われました。小学部9名、中学部22名、高等部29名、計60名の新入学のお友だちと、1名の転入のお友だちが仲間入りし、総勢178名のスタートとなりました。喬木村からも副村長様、教育委員会の皆様、小中学校の校長先生方等々、たくさんの皆様にご出席いただきお祝ひしていただきました。ありがとうございました。

飯田養護学校の玄関ホールには、日本における特殊教育の先駆者の一人である田村一二先生が描かれた「さよなら、さよなら、またあした」の陶壁画があります。この陶壁画には、一日を夢中で過ごした子どもたちの「満足と明日への期待」が表現されており、開校時から飯田養護学校がめざす子どもたちの姿の象徴として引き継がれてきています。

本年度もこうした子どもたちの姿を大切に、1日1日取り組んでいきたいと思ひます。また、小中学校の児童生徒さんとの交流も楽しみにしています。

### 「さよなら、さよなら、またあした」 画：田村一二

\* ご来校の際には是非ご覧ください。



### 23年度の主な行事

\* 足をお運びください。

- 4月8日（金） 入学式
- 5月28日（土） 運動会
- 6月8日（水） 中学交流①
- 6月10日（金） 第一小交流①
- 7月6日（水） 第二小交流①
- 7月7日（木） Aコープサマーセール
- 7月27日～8月17日 夏休み
- 10月15日（土） 花の木祭
- 10月19日（水） 第一小交流②
- 10月27日（木） 第二小交流②  
中学交流②
- 12月29日～1月9日 冬休み
- 3月17日（土） 卒業式
- 3月18日～3月31日 年度末休業



# 社協だより ひなたぼっこ



社会福祉法人 高木村社会福祉協議会 電話 33-4567 / fax 33-4619

## 平成22年度 ペットボトルキャップ収集のご報告

昨年9月から開始しましたペットボトルキャップの収集で集まった分を換金してきました。多くの皆様にご協力いただき感謝申し上げます。換金したお金は「世界の子どもにワクチンを日本委員会 (JCV)」へ送金させていただきます。ペットボトルキャップ収集の活動は継続しますのでご協力をお願いいたします。

高木村の人口で計算すると一人当たり約13本購入して飲んだことになりませんが、そのうち1本を水筒にして募金をすると120円で6人分のワクチン(ポリオワクチン)になります。

中学校、第一小学校からもご協力をいただきました。



総重量 231kg  
個数 約92,740個

換金

2,310円になりました  
(約115人分のワクチン)

世界の子どもに  
ワクチンを日本委員会(JCV)

### いきいき中高年社会貢献活動支援助成金

**応募対象:** 県内概ね50歳以上の方により、自主的に結成された5人以上のグループで、今後3年間の事業計画が明確で継続して活動を行う見込みがあるグループ

- ① 高齢者の生きがい、健康づくりを拓げるための活動
- ② 保健・福祉ボランティア活動
- ③ 子ども世代や若年層を対象とした交流・支援
- ④ まちづくり・地域文化伝承活動
- ⑤ 自然保護、環境美化活動
- ⑥ その他、中高年グループが主体となった地域づくり、社会貢献活動

**助成金額:** 上限20万円  
(助成対象事業費の3分の2以内)

**締め切り:** 5月13日(金) 必着

**問い合わせ先:**  
公益財団法人長野県長寿社会開発センター  
☎026-226-3741 FAX026-226-8327

### ボランティア活動保険について

「東北地方太平洋沖地震」被災地においてボランティア活動を行う方は、通常のボランティア保険ではなく、天災用のボランティア保険に加入していただきます。被災地での混乱や被災地の負担軽減のため、ボランティア活動保険の加入は住居地の社協で行っていただき、被災地に向かわれるボランティアの方に加入カードを交付いたしますので携行をお願いいたします。

また大規模災害時の特例加入を適用しており補償は即時開始され、出発地からの往復途上も補償されますので、在住地での加入をお願いいたします。

基本プランに加入の方にも加入カードを交付  
※先に加入していただいた方は郵送いたします。



加入カード

**問い合わせ:** 高木村社協 ☎33-4567

5月のお知らせ

\*心配ごと相談 9日(月) 午前10時~  
福祉センター (民生児童委員・行政相談員)

# くりんネットたかぎ 5月の自主番組

日	月	番組	内容・出演者など
1	日	今月の暦	5月の村・公民館・学校などの行事予定をお伝えします
2	月	JAアワーみなみの風	農機具の取り扱いについて 喬木農機センター 松澤さん
3	火	明日への農業	家庭菜園について JAファーム 羽場崎さん
4	水	のびよ喬木の子	明日のこどもの日に寄せて 喬木子ども共育会議 奥村茂実さん
5	木	交通安全の日	喬木村交通安全協会 副会長 市瀬兼寿さん
6	金	クラシックを楽しもう	曲の歴史や背景を紹介しながらお送りします
7	土	広域消防	飯田広域消防本部から 「地震への備え」
8	日	話題のひろば	村であった出来事、くらしの情報などをお届けします
9	月	こちら普及センターです	下伊那農業改良普及センターから 藤牧普及員
10	火	みらいをみつめて	定例教育委員会の内容から 原教育長
11	水	村の窓口	環境美化運動実施と村の自然とみどりを 守る 役場ふるさと振興課
12	木	言葉の贈り物	心に残る詩や名言をご紹介します
13	金	広域消防	飯田広域消防本部から 「住宅用火災警報器について」
14	土	ミュージックボックス	音楽のリクエストをお寄せ下さい
15	日	119番火の用心	今日は防火の日 喬木村消防団 第一分団長 市瀬孝広さん
16	月	話題のひろば	村であった出来事、くらしの情報などをお届けします
17	火	マイクで散歩	くりんネット番組企画委員会
18	水	公民館便り	公民館からのお知らせ
19	木	マイク文芸	短歌の鑑賞 福澤亀人さん
20	金	声の情報誌	情報誌「たかぎ」6月号の内容をご紹介します
21	土	明日への農業	田植え後の管理について JA豊丘支所営農課 船田技師
22	日	話題のひろば	村であった出来事、くらしの情報などをお届けします
23	月	商工会便り	通常総会を終えて
24	火	地デジ・カウントダウン!	7月24日の地デジ化まであと2ヶ月 役場企画財政課 広報係
25	水	土に生きる	喬木村農業委員会からお送りします
26	木	暮らしの便り	梅漬け名人に聞く JA組合員課 松島由利子さん
27	金	記念館図書館便り	椋鳩十記念館図書館の話題から
28	土	広域消防	飯田広域消防本部から 「風水害への備え」
29	日	マイク文芸	俳句寸評 吉川照子さん
30	月	青い風にのせて	喬木中学校の話題から 中学校放送委員会制作
31	火	今月の出来事	3月の話題を振り返ってお送りします

\*尚、番組は都合により予告無く変更となる場合があります。予めご了承下さい。

## くりんネット たかぎ

喬木村 6664番地  
TEL 33-3666 FAX 33-3669

くりんネット便り

No.38

H23年5月1日



～5月の番組から～

### ●話題のひろば

8日(日)、16日(月)、22日(日)

5月から始まる新番組です。毎月2～3回、村であった出来事や、くらしの情報をご紹介します。これまで毎週日曜日の夜にお送りしてきましたが、5月からは自主番組枠としての放送となります。どうぞお聴き下さい。

### ●言葉の贈り物

12日(木)

こちら5月からの新番組です。心に残る言葉、励まされるメッセージなどをご紹介します。皆さんからのリクエストやお便りもお待ちしております。

### ●地デジ・カウントダウン!

24日(火)

今年の7月24日にいよいよテレビの地上デジタル放送完全移行となります。地デジ化への支援制度をはじめ、くわしくご紹介します。

### ○放送の申し込みについて○

- 放送原稿は、できるだけお早めのお申し込みをお願いいたします。  
原則として、平日は、放送日前日の午前9時までに、土日等は、木曜日の午後5時までに受付をお済ませ下さい。  
特に土日祝祭日に放送する場合は、受付が遅れますと時間枠に入りませんので、ご注意下さい。くわしくはお気軽にお問い合わせ下さい。  
尚、緊急等の内容はページング放送等での対応となります。

お気軽にお電話下さい

くりんネットたかぎ 電話 33-3666  
FAX 33-3669